

## 広島の被爆樹木二世 アオギリが大きく育っています

令和4年7月4日、現在の3年生が1年生の時に、瑞穂市長様、瑞穂市教育長様、瑞穂市役所企画部長様をお迎えして被爆樹木二世のアオギリを植樹しました。2年近く経ちましたが、右下の写真のように、「非核・平和都市宣言記念」の表示物を超えて、すくすくと大きく成長しました。

左には表示板があります。そこには次のように書かれています。

1945年8月6日午前8時15分、一発の原子爆弾により広島の街は廃墟と化し、その年の暮れまでに14万人もの市民が亡くなりました。

被爆樹木は、被爆の惨禍に遭いながらも、焼け焦げた幹から再び芽吹き、市民に生きる勇気と希望を与えるとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴えかけています。

貴自治体にお贈りしたこのアオギリの二世が大切に育てられ、多くの人々に愛されることにより、貴自治体の平和のシンボルとなることを心から願っています。

平和首長会議

3年生は、2年生時に、総合的な学習の時間を中心に平和学習を進めてきました。広島の平和記念公園に移植された親木のアオギリは、爆心地から1300メートルの距離で被爆し、爆心地側の幹半分が原爆の熱線と爆風によって焼けてえぐられました。焦土の中で青々と芽を吹き返し、広島市民に生きる希望と勇気を与えました。

修学旅行では、広島を訪れ、被爆した親木のアオギリを見学する予定です。



令和4年7月4日植樹



令和6年5月13日撮影